

## 黒いテグスでカラスを撃退！！

### 1 はじめに

全国の野生鳥獣による農作物被害状況（H23～H25年度農林水産省調べ）をみると、鳥類の中では、カラスによる被害金額が最も多くなっています。

カラスは鳥の中でも賢く、収穫間際の果実やトウモロコシ等を食べるだけでなく、発芽したばかりの作物をいたずらで引き抜いたりと被害も多様です。

空から侵入する相手を完全に防ぐには、ネットなどで覆い物理的に遮断するしかありません。しかし、広いほ場では、設置・管理の労力や費用も大きく、対策が進まない現状にあります。

一方、黒いテグス※をほ場に張ることにより、カラスの賢さを利用して比較的容易に対策できることがわかってきました。

では、カラス被害を防ぐ方法を紹介します。

※テグス：ナイロンなど合成繊維で出来たコード・ひも

### 2 設置のポイント

#### （1）見えにくい黒いテグスが効果的

一般的なテグスは、光の反射や屈折などで光って見えやすいです。一方、黒いテグスは背景に溶け込んで非常に見えづらく、近寄らないと見えません。飛行中のカラスには見えないと思われま

#### （2）カラスだから効く！

カラスは飛行中に見えないテグスに羽が接触することに驚き、危険を学習し、ほ場に近寄らなくなります。心理柵の原理と同じで、賢いカラスだからこそ効果があります。ヒヨドリでは、学習効果が働かないためか効果はありません。

#### （3）周囲のネットが重要！

カラスは、飛行中には見えなくても、歩いたり、ホッピングでほ場へ近寄った場合、黒いテグスが見えてしまいます。くちばしの届くところに張ってある黒テグスは、容易に切断されてしまいます。ほ場の周囲には、ネットを巡らし、カラスのくちばしがテグスに届かないようにすることが重要です。

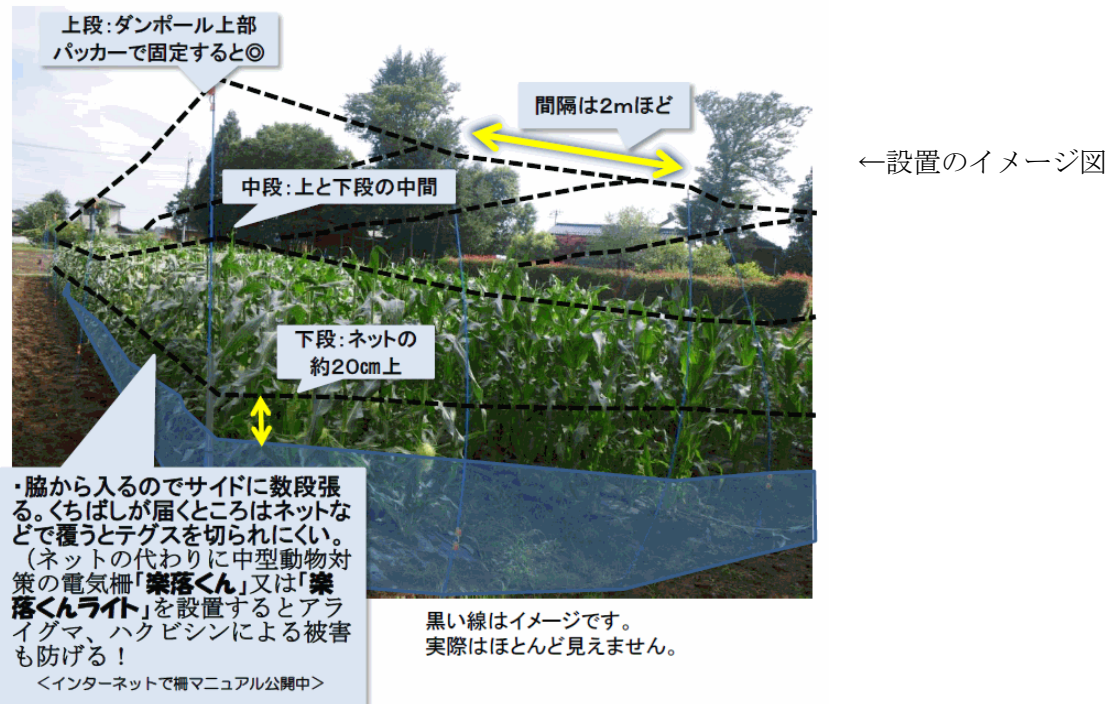
#### （4）設置のタイミングが重要！

テグスの間隔は特に定めはありませんが、下の図を参考にしてください。テグスは、密に張る方が効果的ですが、それ以上に設置のタイミングが重要です。テグスの設置は作物が熟期を迎える前で、収穫までの設置期間をなるべく長く取り、カラ

スに危険な場所と認識させることです。一度でもおいしい思いをさせてしまうと、カラスに執拗に狙われ、直ぐに攻略されてしまいます。

(5) 周囲のネットは電気柵：<sup>らくらく</sup>「楽落くん」<sup>らくらく</sup>「楽落くんライト」を用いると効果的  
トウモロコシ等は、カラスの他に中型動物（アライグマやハクビシン）との複合被害が多いため、電気柵を併設することで中型動物の被害も同時に防げます。

【問い合わせ先】 県農業技術研究センター生産環境・安全管理研究担当  
鳥獣害防除研究チーム（秩父農林振興センター内に駐在）  
電話：0494-25-1660 FAX：0494-22-9152  
※埼玉県農業技術研究センターホームページ  
<http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/b0909/index.html>



←「楽落くん」と組み合わせて設置